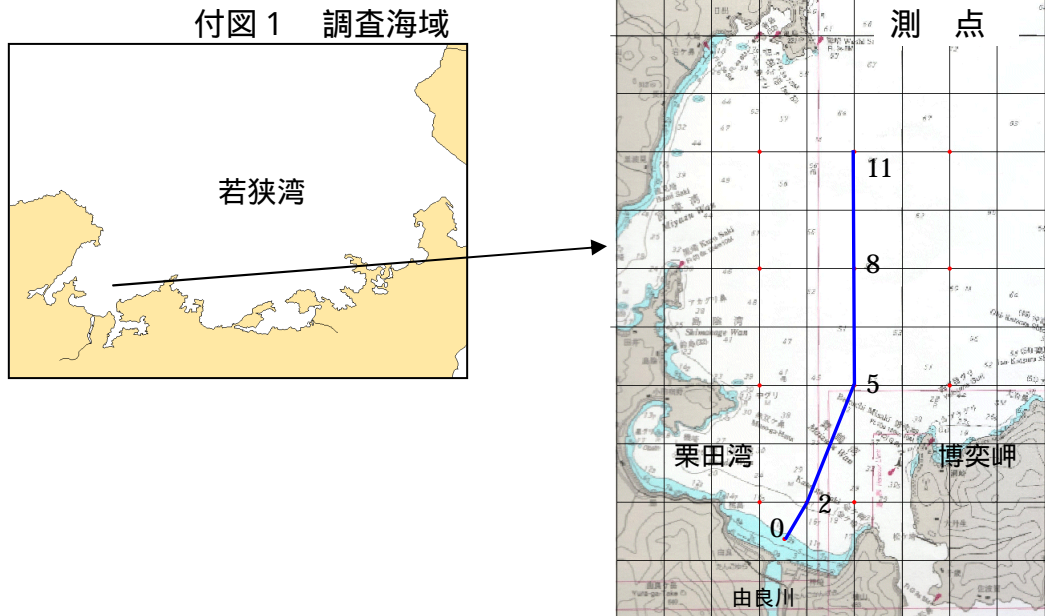


## 由良川河口域流況調査 (平成 16 年 6 月 30 日実施)

平成 16 年 6 月 30 日に実施した由良川 (京都府) 河口域 (付図 1) 流況調査結果を報告します。



### 1 漂流ブイ調査

漂流ブイの航跡を図 1 に示します。一つは平均 0.36kn (最大 0.46kn) で北に、もう一つは 0.21kn (最大 0.39kn) で東北東へ流れました。今回は抵抗体を取り付けたことで風の影響をほとんど受けることなく流れました。この結果、前調査と異なる航跡をたどりました。また、下げ潮時 (図 2) に実施したことも一つの要因であったと思われます。

図 1 漂流ブイ航跡図

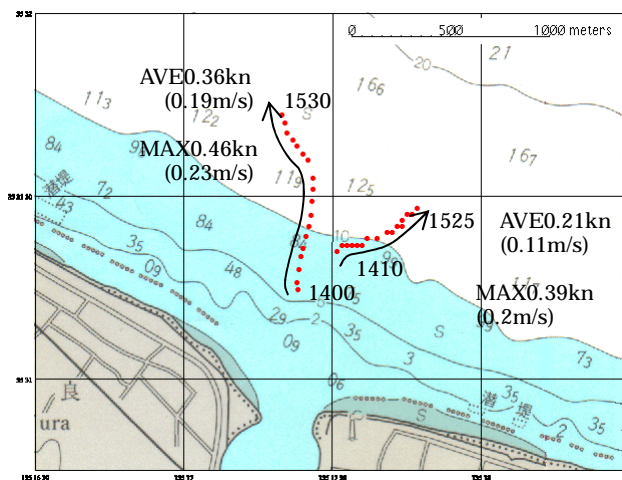
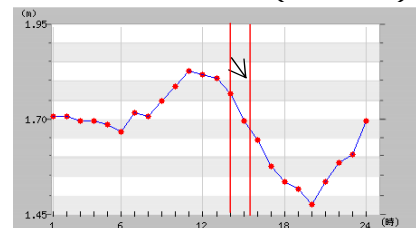


表 1 風向風速 (アメダス)

13時	南東	3m/s
14時	南東	2m/s
15時	東南東	4m/s
16時	南東	3m/s

図 2 水位データ (大川橋)



## 2 水温・塩分調査

水温・塩分の鉛直断面図（図3・図4）から、前回同様に成層しています。

河川水の厚みは表層から2mあたりまでと前回と変わりありませんが、測点8(前回は測点5)あたりまで及んでいます。要因として24日から28日にかけての降雨（参考：福知山の降水量81mm）の影響と思われます。

また、河川水の水平方向への広がり、図5、6から栗田(くんだ)湾と博奕(ばくち)岬方面で高温低塩分であることから、東西方向へと広がっていると思われます。

参考までに前回との較差を図にしました。(図7、8、9)降雨による表層の低塩分化が表れています。

調査当日榎山(調査海域東側)から海域を撮影した画像(写真1)からも栗田湾と博奕岬方面への広がりが見られます。

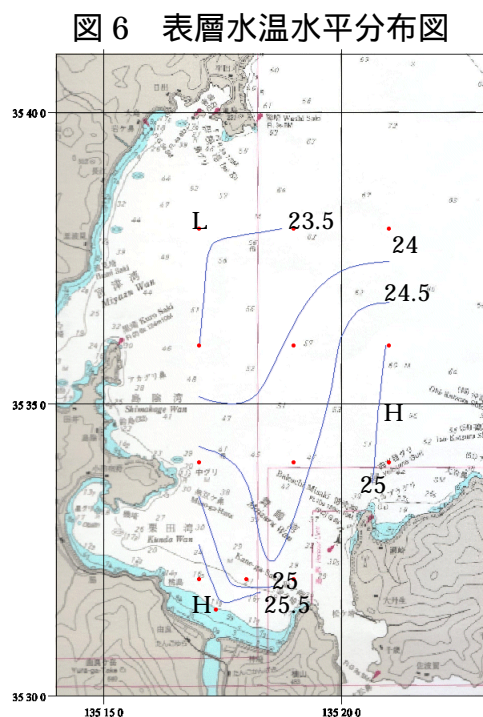
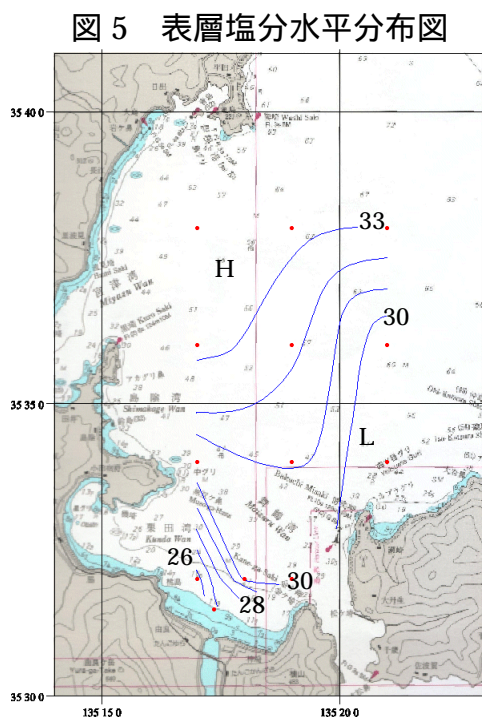
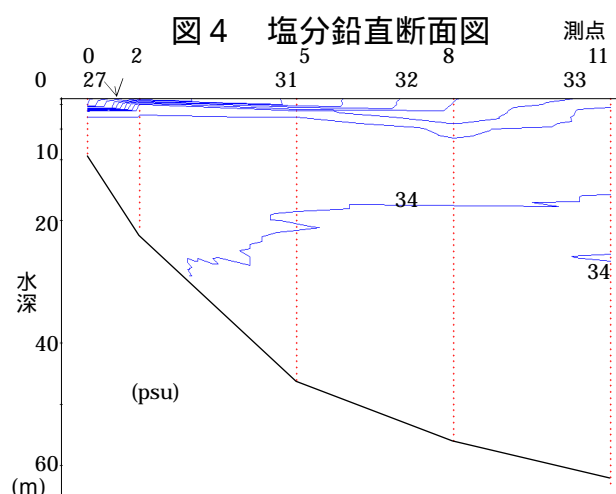
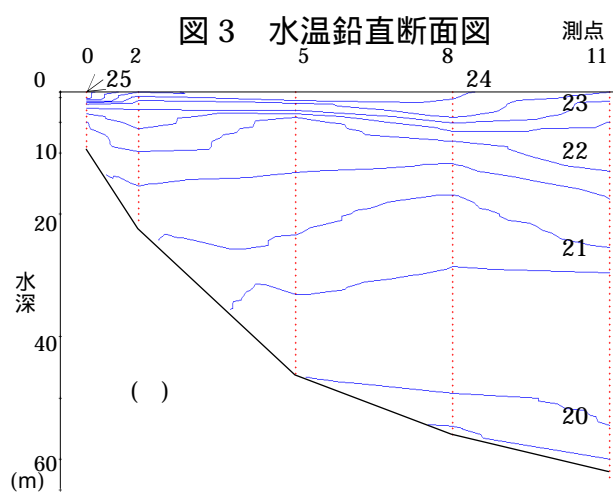


图7 表层盐分较差水平分布图

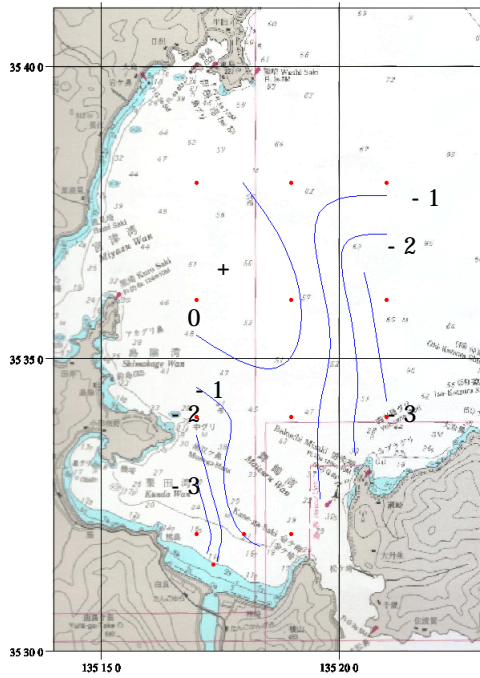


图8 水温较差断面图

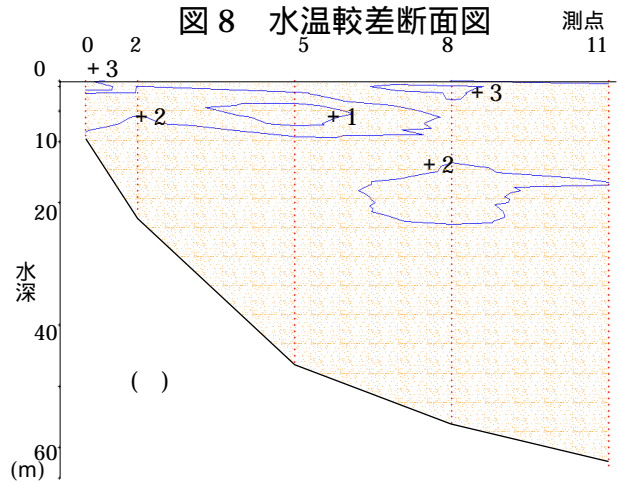


图9 盐分较差断面图

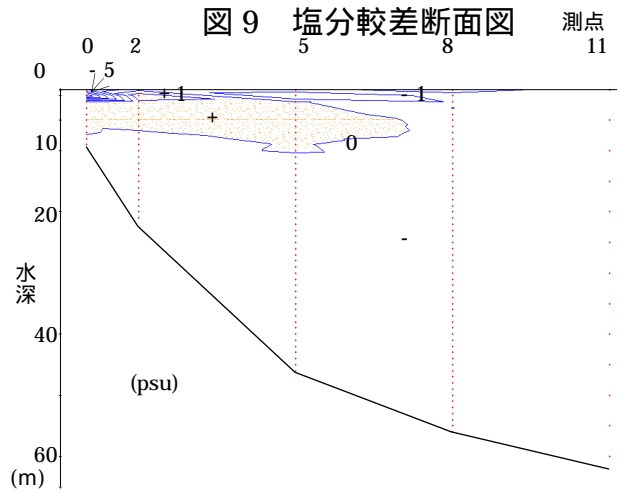
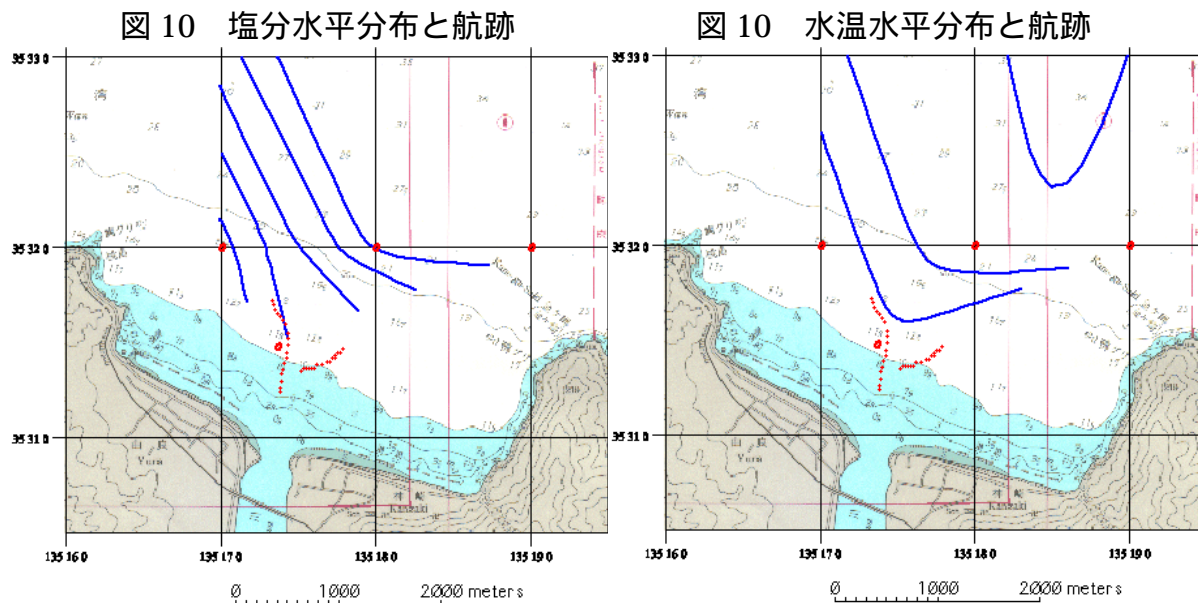


写真1 由良川河口域



### 3 その他

水温・塩分の水平分布と漂流ブイの航跡を合成してみました。(図 10・11) 等値線に沿って漂流しています。



### 4 今後の取り組み

次回は下げ潮・上げ潮の両時間帯に漂流ブイ調査を実施し干満潮の影響を調べます。



写真 2 漂流ブイ



写真 3 漂流中のブイ